

臨床研究

GC0301/TOP-002 試験「切除不能進行・再発胃癌に対する S-1 vs. S-1/CPT-11 第Ⅲ相市販後臨床試験」付随研究

本研究は、GC0301/TOP-002 試験「切除不能進行・再発胃癌に対する S-1 vs. S-1/CPT-11 第Ⅲ相市販後臨床試験」という 2004 年から 2007 年にかけて行われた臨床試験に附随して行っている研究です。GC0301/TOP-002 に参加された患者さんの治療を始める前に採取した病理検査標本から mRNA という物質を抽出して、その発現パターンから抗がん剤の効果や副作用などを予測する新しい指標を確立することを目的としています。この研究の結果により、個々の患者さんに合わせた最も効果的な抗がん剤治療を選択することができるようになることを期待しています。

本試験に参加された患者さんの病院に保存されている病理検査標本の一部を、事務局（特定非営利活動法人胃がん研究支援機構）で収集して使用させていただきますが、あらたに追加検査を行うことはありません。なお、標本はすべて個人が特定できないように匿名化して使わせていただきます。本研究への参加は患者さんの自由意思であり、参加しなくても不利益はありません。ご自分の病理検査標本や情報を研究に使わないで欲しい、というご希望がありましたら、担当医師までご相談下さい。

特定非営利活動法人胃がん研究支援機構

担当：丸山啓子 月一金 8:30-17:00

TEL: 06-4790-7121, FAX: 06-4790-7122